

8-4-15 海岸・海洋専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

海洋分野の新たな市場開拓を主な目的として沿岸域の総合的な管理等に関わる情報収集、情報交換等の委員会を8回(4月、5月、6月、7月、8月、9月、11月、1月)開催した。

(2) 海岸・海洋オンライン勉強会の開催

海岸・海洋分野において検討すべき課題や開発が必要な技術等について、タイムリーに頻度高く議論する機会を設けることを目的にオンライン勉強会を開催した。

【実施日】2024年7月22日(月)15:30~17:00

【講演】「環持続可能な海岸保全:研究を通して見える課題と展望」
東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤学専攻 海岸・沿岸環境研究室 下園 武範 教授

【参加者数】約300名

(3) 現地視察・意見交換会の開催

南海トラフ地震津波による多大な被害が想定され、災害時の孤立集落の発生や人口減少等の社会的課題を有する和歌山県串本町を現地視察し、今後の海岸保全のあり方について議論した。

【実施日】2024年10月25日(金)

【現地視察】和歌山県串本町

【参加者】

- ・高知工科大学システム工学群 佐藤 慎司 教授
- ・関西大学 環境都市工学部 安田 誠宏 教授
- ・神戸大学大学院 工学研究科 瀬木 俊輔 准教授
- ・和歌山県 県土整備部 港湾空港局 港湾漁港整備課 坂口 主任、山本 副主査
- ・和歌山県 東牟婁振興局 串本建設部 総務用地課 田原 課長
- ・串本町役場 総務課 防災・防犯グループ 大柴 副課長、岡田 主任、池田 班長
- ・海岸・海洋専門委員会委員 11名
- ・公募参加者 6名

(4) 海岸・海洋セミナー(第16回)の開催

まちづくりを含めた防護対策や環境・利用へ

の配慮等がより一層重要となる中、今後の海岸保全のあり方について議論することを目的としてセミナーを実施した。

a) テーマ:まちづくりと連携したこれからの海岸保全について考える~人口減少や災害時の孤立といった課題への対応~

b) 日時:2024年12月19日(木)13:00~17:00

c) 場所:日本工営(株)会議室(対面・Web)

d) 参加者数:約300名

e) 講演概要

【講演1】「前復興の取り組み 東日本大震災、能登半島地震の教訓をふまえて」

京都大学防災研究所 社会防災研究部門 都市防災計画研究分野 牧 紀男 教授

【講演2】「津波の周期性、海面上昇および人口変化の関係を考慮した時間変動リスク評価」

関西大学 環境都市工学部

都市システム工学科 安田 誠宏 教授

【講演3】

「長期孤立リスクに備える共助の再生」

高知工科大学 システム工学群 佐藤 慎司 教授

【全体討議】

上記の講演者と国土技術政策総合研究所 河川研究部海岸研究室 室長 柴田 亮 氏による全体討議を実施し、まちづくりと連携した海岸保全のあり方について講師の方から多くの意見を頂いた。

(5) RCCM 自主学習教材の改訂について

RCCM 自主学習教材に関し、「河川、砂防及び海岸・海洋」の講義資料について一部改訂した。

2. 次年度の活動について

これまでの活動内容を踏まえ、以下の活動を継続的に行い、技術情報の共有を図る予定である。

- ・沿岸域の総合的な管理に関する議論
- ・海岸・海洋オンライン勉強会の開催
- ・海岸の現地視察と意見交換会の開催
- ・令和6年度海岸・海洋セミナーの開催

(海岸・海洋専門委員会委員長 神保 正暢)